# 履修ロードマップ 「国際関係学科/国際メディア学科:ツーリズム」分野

学科目分野		A:基礎教育分野		B:ツ	ーリズム分野の基幹科目			C:関連専門科目			D:実践型学修科目		各期履 修単位	積算履修		
	(	基礎·教養科目系列〕			〔専門系列1〕			〔専門系列2〕			ャリア・プロジェクト系列〕		数	単位数		
学年/学期	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位				
4年次秋学期					専門演習 卒業研究	2										
腰修単位の目安													6	134/124		
4年次春学期				M-SEM301	専門演習	2										
履修単位の目安													2	128/124		
			・研究の仕上げ段階として、学修成果の集大成を行う。同時に、②社会で求められる調査・分析・報告などの総合的な学力を磨く。さらに③研究・調させ、研究成果を卒業研究として公表することを目指す。④DP要件を満たすことを最終確認する。													
4年次の 学修の狙い	秋学期	B • C: 専門科目: 春学期の	の学修に	加えて卒業を	こ基礎教育科目を選択履修す 研究に取り組み実践的な学修 の未履修科目を履修し、ツー	·研究(	の集大成とする	る。卒業要件を満たしている	か必す		:(6単位以上)。口					
	春学期	B • C: 大学での学修·研究	の仕上	げとして専門	こ基礎教育科目を選択履修で 分野での学びの成果を高める の未履修科目を履修し、ツー	るような	な履修を行う。	卒業要件を満たしているか	心ず確	調すること(	②単位以上)。口					

-															
学科目分野		A:基礎教育分野		B:ツ	ーリズム分野の基幹科目			C: 関連専門科目			D: 実践型学修科目				
	Į	基礎·教養科目系列〕			〔専門系列1〕			〔専門系列2〕			ャリア・プロジェクト系列〕				
学年/学期	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位			
				M-SEM301	専門演習	2+2	M-	〔他分野のB専門系列科目〕		C-	〔キャリア形成支援科目〕				
3年次				M-TRS305	観光社会学	4				G-	〔プロジェクト科目〕				
3年次 春学期				M-TRS308	国際観光英語演習	2				M-	[現場学習プログラム(履修制限外)]				
& *********				M-ENG301	英語通訳法	4				M-ISP401	観光実務研修 III	2			
秋学期				M-TRS302	MICE産業論	2				M-ISP402	観光先進地研修 III	2			
				M-TRS304	観光コミュニケーション論	2									
腰修単位の目安(秋学期)						12			4			4+2	22	126/124	
腰修単位の目安(春学期)						12			4			4	20	104/124	
3年次の 学修の狙い	秋学期	B・C: 春学期までの学修えるので、Cは他分野のB系列 D: ツーリズムでは研修や	をさらに 列専門和 インタ	発展させ専門 科目を積極的は ーンシップや	9学修を展開する。上記に掲 一履修すること(300番台	載した 中心)。 学修に科	科目群を中心 難易度や他科 極的に取り組	の段階で満たすよう計画的 に履修計画を立てる。ツー 相との関連も重要なのでシ む必要がある。観光実務研 」	Jズム( ラバス	の現場では幅I をよく確認す	ること(16単位程度)。口				
	春学期	B・C:2年次までの学修を で、Cは他分野のB系列専 D:ツーリズムでは研修や	発展される	を 世専門学修を を 積極的に履修 ーンシップや	展開する。上記に掲載した 多すること(300番台中心)	科目群 。難易 学修に程	を中心に履修記 度や他科目と 極的に取り組	の段階で満たすよう計画的計画を立てる。ツーリズムの での関連も重要なのでシラバ の関連も重要なのでシラバ む必要がある。観光実務研 コ	)現場でスをよ	では幅広い国際 く確認するこ	と(16単位程度)。口	-			

学科目分野		A:基礎教育分野 基礎·教養科目系列]		B:ツ	一リズム分野の基幹科目			C:関連専門科目 「専門系列2]		[+	D:実践型学修科目 ャリア・プロジェクト系列〕					
学年/学期	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	#4 P - 197	197 1 1 2 27 11033	単位				
	G-LNG101	ことば学入門	4	M-SEM201	基礎演習	2+2	M-	〔他分野のB専門系列科目〕		C-	〔キャリア形成支援科目〕					
	G-SOC106	社会学	4	M-TRS206	ホスピタリティ論	2				G-	〔プロジェクト科目〕					
	G-SCI106	統計学入門	4	M-TRS203	観光ビジネス論	2				M-	[現場学習プログラム(履修制限外)]					
	G-ECN101	経済学	4	M-TRS204	観光マーケティング論	2				M-ISP302	観光実務研修 Ⅱ	2				
春学期	G-SOC104	現代の社会	4	M-TRS307	観光魅力創造論	2				M-ISP303	観光先進地研修 II	2				
	G-OHM108	人文地理学	4	M-TRS306	観光マネジメント論	2										
	G-OHM110	地理学概論	4													
	L-	〔言語スキル科目・英語〕														
	L-	〔言語スキル科目・その他外国語〕														
腰修単位の目安(秋学期)			6			6			4			4+2	22	84/124		
腰修単位の目安(春学期)			6			6			4			4	20	62/124		
2年次の 学修の狙い	和論相		単位程 )学習を 専門科E インタ	度、言語スキル 基礎に専門学 目を積極的に原 ーンシップや	ル科目から2単位程度)。 口 ・修を展開する。 上記に掲載	) した科 い)。 学修に科	目群を中心に 難易度や他科目 責極的に取り組	優修計画を立てる。ツーリス との関連も重要なのでシラ 目む必要がある。観光実務研	ズムのI バスを	見場では幅広い よく確認する	N国際関係の教養が必要とさ こと(10単位程度)。口	れる				
		D: ツーリズムでは研修や	単位程 積み上 列専門和 インタ	度、言語スキル げる形で専門 4目を積極的に ーンシップや	ル科目から2単位程度)。口	 載した  中心)。  学修に科	科目群を中心 難易度や他科 養極的に取り組	に履修計画を立てる。ツー! 目との関連も重要なのでショむ必要がある。観光実務研	Jズム0 ラバス	D現場では幅位 をよく確認す	い国際関係の教養が必要と ること(10単位程度)。 口	:され				

学科目分野		A:基礎教育分野		B:ツ	一リズム分野の基幹科目			C:関連専門科目			D:実践型学修科目			
于行力对到	(	基礎·教養科目系列〕			〔専門系列1〕			〔専門系列2〕			ャリア・プロジェクト系列〕			
学年/学期	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位		
	G-SEM101	初年次演習	2	M-IRE203	国際関係学入門	2				C-	〔キャリア形成支援科目〕			
AT (T ) (A	L-	〔言語スキル科目・英語〕	2	M-MED207	メディア産業論	2				G-	〔プロジェクト科目〕			
初年次 秋学期	G-	〔教養コア科目〕	4	M-TRS205	観光メディア論	4				M-	[現場学習プログラム(履修制限外)]			
	L-	[言語スキル科目・その他外国語]	2	M-ENG201	英語通訳法入門	4				M-ISP201	観光実務研修I	2		
	G-	[健康・スポーツ科学・実習]				ļ				M-ISP202	観光先進地研修I	2		
腰修単位の目安			10			8						2+2	22	42/124
	G-SEM101	初年次演習	2							C-	〔キャリア形成支援科目〕			
	C-SEM101	大学生活デザイン演習	2							G-	〔プロジェクト科目〕			
1	G-INF101	ICT基礎	2											
初年次 春学期	L-	〔言語スキル科目・英語〕	4											
	G-	〔教養コア科目〕	8											
	L-	[言語スキル科目・その他外国語]												
	G-	〔健康・スポーツ科学・実習〕	2											
	G-/C-	〔その他〕	ļ			ļ								
腰修単位の目安			20										20	20/124
					スキル・基礎的能力や問 視点から国や地域の問題				内な学	修態度を高め	める。③キャリアを目指す	す学び		
初年次の 学修の狙い	秋学期	科目2単位、英語科目2単 B・C:国際関係学入門は との関連も重要なのでシラ D:ツーリズムでは研修や	立以上、 必修では バスを インタ	教養コア科目 50、2年次以 よく確認する ーンシップや	目から4単位程度、その他外 以降の専門学修の基礎となる こと(6単位程度)。口	国語/領 ので必 学修に科	健康スポーツ科 ず履修するこの 積極的に取り組	学・実習/その他から2単位 と。その他、上記に掲載した	程度)	。口 詳を中心に履修	Rして履修計画を立てる(TI 舒計画を立てる。難易度や他 、観光まちおこしワークショ	科目		
	春学期	コア科目6単位、英語科目 B・C:専門科目は200番	4単位、	教養コア科目 か初年次春学!	もして履修する。教養コア科目から8単位程度、その他外 関には履修できない。A、D 形成支援科目などの実践型	国語/領)分野の	康スポーツ科 履修を確実に	学・実習/その他から2単位	程度)	科目群の中から 。 口	6選択して履修計画を立てる	(TIU		

## 国際関係学科 ツーリズム分野卒業必要単位履修モデル

			基礎教育分野			専門分野		
		TIUコア科目	教養コア科目 言語スキル 科目「英語」 以外	言語スキル科目「英語」	国際関係学 入門(必修)	所属学科専 門分野200番 台	所属学科専 門分野300・ 400番台	その他
卒業必要	単位数	8	16	6	2	10	32	50
修得単位	立数	8	16	6	2	10	32	60
4年次	秋							6
4年次	春							2
3年次	秋						16	6
3年次	春						16	4
2年次	秋							22
2年次	春					4		16
初年次	秋	2	6	2	2	6		4
初年次	春	6	10	4				

## 国際メディア学科 ツーリズム分野卒業必要単位履修モデル

		, , , ,				K 19 = 7 7		
			基礎教育分野			専門分野		
		TIUコア科目	教養コア科目 言語スキル 科目「英語」 以外	言語スキル 科目「英語」	国際関係学 入門(必修)	所属学科専門分野200番台	所属学科専 門分野300・ 400番台	その他
卒業必要	単位数	8	16	6	2	10	32	50
修得単位	立数	8	16	6	2	10	32	60
4年次	秋							6
44次	春							2
3年次	秋						16	6
3年次	春						16	4
2年次	秋							22
2年次	春					2		18
初年次	秋	2	6	2	2	8		2
切牛火	春	6	10	4				

### 履修ロードマップ 「国際メディア学科:メディア」分野

春学期

学科目分野	(	A:基礎教育分野 基礎·教養科目系列〕			メディア分野の基幹科目 〔専門系列1〕			C:関連専門科目 〔専門系列2〕			D:実践型学修科目 ャリア・プロジェクト系列〕		各期履 修単位 数	積算履修 単位数	
学年/学期	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位			
4年次秋学期				M-SEM301 M-SEM401		2 4									
履修単位の目安						6							6	130/124	
4年次春学期				M-SEM301	専門演習	2			<u> </u>						
履修単位の目安						2							2	124/124	
			アスの仕上げ段階として、学修成果の集大成を行う。同時に、②社会で求められる調査・分析・報告などの総合的な学力を磨く。さらに③研究・調せ、研究成果を卒業研究として公表することを目指す。④DP要件を満たすことを最終確認する。												
4年次の 学修の狙い	秋学期	B • C : 専門科目 : 春学期の	の学修り	こ加えて卒業の	こ基礎教育科目を選択履修す 研究に取り組み実践的な学修 の演習・実習科目または現場	₹∙研究(	の集大成とする	る。卒業要件を満たしている	か必ず						
	春学期	B • C: 大学での学修·研究	の仕上	げとして専門	こ基礎教育科目を選択履修す 分野での学びの成果を高め の演習・実習科目または現場	るような	な履修を行う。	卒業要件を満たしているか	必ず確	認すること ( ーシップの養原	2単位以上)。口 或等を図る。口				

					1								_	
学科目分野	(	A:基礎教育分野 基礎·教養科目系列〕		В:.	メディア分野の基幹科目 [専門系列1]			C:関連専門科目 〔専門系列2〕		[+	D:実践型学修科目 ャリア・プロジェクト系列〕			
学年/学期	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位		
3年次 春学期 & 秋学期				M-MED303	専門演習 社会情報学 パブリックリレーションズ エンターティンメント・マーケティング 情報政策論 映像論 広告メディア論	4 4 4 4 4	M-MED316 M-MED309 M-MED320 M-MED315 M-MED307 M-MED313 M-SOC313 M-HES325	ソーシャルメディア・コミュニケーション ジャーナリズム論 メディアとことば 先端メディア・テクノロジー特論 コミュニケーション調査法 出版論 ジェンダー論 スポーツジャーナリズム	4 4 4 4 4		[キャリア形成支援科目] [プロジェクト科目] [現場学習プログラム(履修制限 外)] 取材・ライティング演習 雑誌編集 写真演習 映像制作・編集 ナレーション演習	4 4 4 4		
関修単位の目安(秋学期)						10			4			4+2	20	122/1
履修単位の目安(春学期)						10			4			4	18	102/1
	①専門分野的・課題解	を中心に、主体的な学修 決型学修を行い社会人と	·研究 しての	・調査の基盤 基礎力を修行	作りを行う。②専門分野 导する。④教養·関連専門	科目及  科目で	なび基礎教育 で幅広い観点	分野科目の幅広い学修とな からの判断ができる能力な	を連携を養う	させる。③= 。	ドャリア形成支援科目等で	で実践		
3年次の 学修の狙い	秋学期	B • C: 春学期までの学修すること(14単位程度)。	をさらに 口 には多	発展させ専門 くの演習・実	9学修を展開する。上記に掲	載した	科目群を中心	この段階で満たすよう計画的 に腹修計画を立てる。難易思 別組む必要がある。上記科目:	度や他	科目との関連す				

学科目分野	(	A:基礎教育分野 基礎·教養科目系列〕		В:.	メディア分野の基幹科目 〔専門系列1〕			C:関連専門科目 〔専門系列2〕			D:実践型学修科目 ャリア・プロジェクト系列〕		
学年/学期	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	
	G-LNG101	ことば学入門	4	M-SEM201	基礎演習	2+2	M-MED205	コミュニケーション理論	2	C-	[キャリア形成支援科目]		
	G-SOC106	社会学	4	M-MED206	メディア・コミュニケーション概論	4	M-LNG207	社会言語学	2	G-	〔プロジェクト科目〕		
2年次	G-SCI106	統計学入門	4	M-MED208	メディア史	4	M-	〔他分野のB専門系列科目〕		M-	<ul><li>(現場学習プログラム(履修制限外))</li></ul>		
	G-INF102	情報処理の基礎	4	M-MED321	メディア倫理・法制	4				M-MED204	広告演習 I	4	
& 秋学期	G-SOC104	現代の社会	4							M-MED202	映像制作 I	4	
	G-OHM108	人文地理学	4							M-MED203	映像制作·取材	4	
	L-	〔言語スキル科目・英語〕								M-MED305	広告演習Ⅱ	4	
	L-	[言語スキル科目・その他外国語]								M-MED302	映像制作Ⅱ	4	
優修単位の目安(秋学期)			6			6			4			4+2	2
優修単位の目安(春学期)			6			6			4			4	2

A: 可能ならば、広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件をこの段階で満たすよう計画的に履修する。口 B・C: 2年次までの学修を発展させ専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること (14単位程度)。ロ D: メディア学科専門科目には多くの演習・実習科目が用意されており、これらに積極的に取り組む必要がある。上記科目群からの計画的な履修を強く薦める(春・秋学期また は夏休み等を通じて12単位程度)。ロ

①専攻分野における適切で効果的な学修·研究·調査等の基礎能力の修得を図る。②専門科目での自律的・能動的な学びを行うための足固めとする。③実践的ないしキャリア志向の科目を学修することで、課題解決能力を養成する。④グローバル人材として幅広い教養を磨く学修をする。

A: 広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。卒業要件をなるべく2年次で満たせるよう計画的に履修する(教養コア科目から4単位程度、言語スキル科目から2単位程度)。ロ B・C: 1年次の履修の上に積み上げる形で専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。メディアの現場では幅広い教養が必要とされるので、Cは他分野のB系列専門科目も積極的に履修すること(200番台中心)。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(10単位程度)。ロ D: メディア学科専門科目には多くの演習・実習科目が用意されており、これらに積極的に取り組む必要がある。上記科目群からの計画的な履修を強く薦める(春・秋学期または夏休み等を通じて10単位程度)。ロ 秋学期 2年次の 学修の狙い

春学期

春学期

A: 広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。卒業要件をなるべく2年次で満たせるよう計画的に履修する(教養コア科目から4単位程度、言語スキル科目から2単位程度)。口 B・C: 1年次の履修の上に積み上げる形で専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。メディアの現場では幅広い教養が必要とされるので、Cは他 分野のB系列専門科目も積極的に履修すること(200番台中の)。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(10単位程度)。口 D:メディア学科専門科目には多くの演習・実習科目が用意されており、これらに積極的に取り組む必要がある。上記科目群からの計画的な履修を強く薦める(春・秋学期または复休み等を通じて10単位程度)。口

学科目分野		A:基礎教育分野		B:.	メディア分野の基幹科目			C:関連専門科目			D: 実践型学修科目			
	Į	基礎・教養科目系列〕			〔専門系列1〕			〔専門系列2〕		[+	ャリア・プロジェクト系列〕	T		
学年/学期	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位		
	G-SEM101	初年次演習	2	M-IRE203	国際関係学入門(必修)	2	M-INF208	メディアリテラシー入門	4	C-	〔キャリア形成支援科目〕			
4-6-6	L-	〔言語スキル科目・英語〕	2	M-MED207	メディア産業論	2					〔プロジェクト科目〕			
初年次 秋学期	G-	〔教養コア科目〕	4							M-	[現場学習プログラム(履修制限 外)]			
	L-	[言語スキル科目・その他外国語]	2											
	G-	〔健康・スポーツ科学・実習〕												
履修単位の目安			10			4			4			2+2	22	42/124
	G-SEM101	初年次演習	2							C-	[キャリア形成支援科目]			
	C-SEM101	大学生活デザイン演習	2							G-	〔プロジェクト科目〕			
	G-INF101	ICT基礎	2											
初年次 春学期	L-	〔言語スキル科目・英語〕	4											
L	G-	〔教養コア科目〕	8											
	L-	[言語スキル科目・その他外国語]												
	G-	〔健康・スポーツ科学・実習〕	2											
	G-/C-	[その他]							ļ					
履修単位の目安			20										20	20/124
					スキル・基礎的能力や問題 現点から国や地域の問題を				な学術	8態度を高め	る。③キャリアを目指す	学び		
初年次の 学修の狙い	秋学期	科目2単位、英語科目2単位 B・C:国際関係学入門は の関連も重要なのでシラハ D:メディア学科専門科目	立以上、 必修で に に 配置	教養コア科目 あり、2年次以 く確認するこ されている演	R履修する。教養コア科目に 目から4単位程度、その他外 以降の専門学修の基礎となる と(4単位程度)。ロ 宮・実習科目などの実践型等 学習プログラム(メティア)	国語/個 ので必 学修に科	を表えポーツ科 す履修すること でないに取り組	学・実習/その他から2単位 と。その他、上記に掲載した む必要がある。ここではそ	程度) 三科目郡 の準備	。口 詳を中心に履修 段階として、	を計画を立てる。難易度や他 観光まちおこしワークショ:	科目と		

国際メディア学科 メディア分野卒業必要単位履修モデル

			基礎教育分野			専門分野		
		TIUコア科目	教養コア科目 言語スキル科 目「英語」以外	言語スキル科 目「英語」	国際関係学入門(必修)	所属学科専門 分野200番台	所属学科専門 分野300・400 番台	その他
卒業必要単	位数	8	16	6	2	10	32	50
修得単位	数	8	16	6	2	10	32	56
4年次	秋							6
44%	春							2
3年次	秋						14	6
34%	春						18	
2年次	秋					2		20
2十次	春							20
初年次	秋	2	6	2	2	8		2
初十久	春	6	10	4				

A:TIUコア科目(必修科目)、英語科目を優先して履修する。教養コア科目については、なるべく2年次の欄に掲載されている科目群の中から選択して履修計画を立てる(TIU コア科目6単位、英語科目4単位、教養コア科目から8単位程度、その他外国語/健康スポーツ科学・実習/その他から2単位程度)。ロ B・C:専門科目は200番台のため初年次春学期には履修できない。A、D分野の履修を確実に行い、秋学期に備えること。ロ D:余裕があればプロシェクト科目、キャリア形成支援科目などの実践型学修に取り組む。ロ

## 履修ロードマップ 「国際メディア学科:コミュニケーション」分野

学科目分野	ı	A:基礎教育分野 基礎·教養科目系列〕			В:.	メディア分野の 〔専門系列					C:関連専門 〔専門系列				D:実践型学修科目 ャリア・プロジェクト系列〕		各期履 修単位 数	積算履修 単位数
学年/学期	科目コード /ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー			授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー			授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位		
4年次秋学期				M-SEM301 M-SEM401			専門演習 卒業研究	2 4										
関修単位の日安								6									6	128/124
4年次春学期			ļ <u>.</u>	M-SEM301	M-SEM301		専門演習	2					<u> </u>			<u> </u>		
履修単位の日安																	2	122/124
		大学時代の学修・研究の仕上げ段階として、学修成果の集大成を行う。同時に、②社会で求められる調査・分析・報告などの総合的な学力を磨く。さらに③研究・調査・分析等を深化させ、研究成果を卒業研究として表することを目指す。④DP要件を満たすことを最終確認する。																
4年次の 学修の狙い	秋学期	A:可能ならば言語スキル ロ B・C:専門科目:春学期の D:可能ならばプロジェク	の学修に	こ加えて卒業を	研究に取り組み	*実践的な学修	・研究の集大成とする。 卒					かに基礎教育科目を選択履修 位以上)。ロ	多する。	卒業要件を満	たしているか必ず確認する	らこと。		
	春学期	A: 可能ならば言語スキル ロ B•C: 大学での学修・研究 D: 可能ならばプロジェク	の仕上	げとして専門	分野での学び	の成果を高め	るような履修を行う。卒業					かに基礎教育科目を選択履修 以上)。ロ	きする。	卒業要件を満		こと。		

学科目分野	ĺ	A:基礎教育分野 基礎·教養科目系列]				メディア分野(	列1]				C:関連専門系	列2]		(+	D:実践型学修科目 [キャリア・プロジェクト系列]		
学年/学期	科目コード /ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー			授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー			授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	
	L-	[言語スキル科目・その他外国語]		M-SEM301	M-SEM301		専門演習	2+2	M-LNG315	M-LNG315		第二言語習得論	4	C-	[キャリア形成支援科目]		ı
	L-	[言語スキル科目・英語]		M-TRS304	M-TRS304		観光コミュニケーション論	2	M-MED322	M-MED322		Media Studies	4	G-	〔プロジェクト科目〕		
				M-MED320	M-MED320		メディアとことば	4	M-			〔他分野のB専門系列科目〕		G-OAR201	海外ゼミナールA	4	
3年次				M-LNG312	M-LNG312		世界の言語政策	4						G-OAR202	海外ゼミナールB	2	
春学期				M-SOC307	M-SOC307		Current Issues A	2						M-	[現場学習プログラム(履修制限外)]		
秋学期				M-SOC308	M-SOC308		Current Issues B	2									
				M-SOC310	M-SOC310		Intercultural Communication	4									ı
				M-ENG301	M-ENG301		英語通訳法	4									ı
				M-TRS308	M-TRS308		国際観光英語演習	2									
夏修単位の日安(秋学期)			2					10					8				
関修単位の日安(春学期)			2					10					8				Γ

①専門分野を中心に、主体的な学修・研究・調査の基盤作りを行う。 ②専門分野科目及び基礎教育分野科目の幅広い学修とを連携させる。 ③キャリア形成支援科目等で実践的・課題解決型学修を行い社会人としての基礎 力を修得する。 ④教養・関連専門科目で幅広い観点からの判断ができる能力を養う。

3年次の 学修の狙い

2年次の 学修の狙い

春学期

A・B:言語スキル科目・英語(200番台)のAdvanced科目や専門分野の英語を確修し、英語実践力のさらなる向上を目指す(4単位程度)。余裕があれば英語以外の外国語科目も履修する。また可能ならば、広い視野と教養を 修得するために基礎教育科目も選択機能する。卒業要件をこの時態で満たすよう計画的に履修する。ロ C:音学期までの学修をさらに発展させ専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。難易度や他科目との殿連も重要なのでシラバスをよく確認すること(18単位程度)。ロ D:条裕があれば頑虐体験から学びとるインターンシップやプロジェクト科目などの実践型学修に再極的に取り値む。海外ゼミナール(微修制限外)にも積極的に参加し、英語実践力を身に替けるとともに異文化体験から学ぶ。ロ

A・B:言語スキル科目・英語(200番台)のAdvanced科目や専門分野の英語を覆修し、英語実践力のさらなる向上を目指す(4単位程度)。余裕があれば英語以外の外国語科目も履修する。また可能ならば、広い視野と教養を修用するために基礎教育科目も選択機能する。卒業要件をこの映象で満たすよう計画的に関修する(2単位程度)。口 に、2年次までの学能を発展させ専門学修を展開する。上記に掲載した科目辞を中心に関修計画を立てる。軽易度や他科目との映造も重要なのでシラバスをよく確認すること(18単位程度)。口 D:余裕があれば現場体験から学びとるインターンシップやプロジェクト科目などの実践型学修に積極的に取り組む。海外ゼミナール(優修制限外)にも積極的に参加し、英語実践力を身に置けるとともに異文化体験から学ぶ。口

学科目分野		A:基礎教育分野 [基礎·教養科目系列]			B:.	メディア分野(					C:関連専門系	列2〕			D:実践型学修科目 ・ャリア・プロジェクト系列〕			
学年/学期	科目コード /ナンバー		単位	科目コード/ ナンバー			授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー			授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位		
	G-LNG101	ことば学入門	4	M-SEM201	M-SEM201		基礎演習	2+2	M-LNG207	M-LNG207		社会言語学	2	C-	[キャリア形成支援科目]			
	G-SOC101	Introduction to American Society	4	M-SOC202	M-SOC202		異文化コミュニケーション論	4	M-LNG212	M-LNG212		談話分析	2	G-	〔プロジェクト科目〕			
2年次	G-SOC104	現代の社会	4	M-TRS206	M-TRS206		ホスピタリティ論	2	M-INF208	M-INF208		メディアリテラシー入門	4	G-OAR201	海外ゼミナールA	4		
2 + 次 春学期	G-OHM103	異文化概論	4	M-MED201	M-MED201		English in the Media	2	M-			[他分野のB専門系列科目]		G-OAR202	海外ゼミナールB	2		
& 秋学期	G-OHM118	文化人類学	4	M-ENG201	M-ENG201		英語通訳法入門	4						M-	[現場学習プログラム(履修制限外)]			
	G-SCI106	統計学入門	4															
	L-	〔言語スキル科目・英語〕																
	L-	[言語スキル科目・その他外国語]																
腰修単位の目安(秋学期)			6					6					8				20	80/124
腰修単位の目安(春学期)			6					6					8				20	60/124
	①重妆分野	における適切で効果的な	·学修·	研究·調杏等	の其磷能力の	修得を図る	②専門科日での白律的	<ul><li>能制</li></ul>	的な学びを行	テうための足	用めとする	③宝践的ないしまっけ	ア志向	の科日を学信	&することで、 課題解決能	Ĕカを		

①守以刀釘における廻りで対未的な子ぼっぽん。 調直寺の室に祀力。 養成する。 ④グローバル人材として幅広い教養を磨く学修をする。

A:広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択関修する。英語科目は必修単位を超えて関修する。上記に掲載した科目群を中心に関修計画を立てる。卒業要件をなるべく2年次で満たせるよう計画的に関修する(教養コ ア科目から4単位投援、言語スキル科目から2単位投援)。ロ B・C:2年次章学期までの学習を提唱に専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に関修計画を立てる。難易度や他科目との関連も重要衣のでシデバスをよく確認すること(14単位投援)。ロ D:余裕があれば現場体験から学びとるインターンシップやフロシェクト科目などの実践型学修に積極的に取り組む。海外セミナール(関修制限外)にも積極的に参加し、英語実践力を身に置けるともに異文化体験から学ぶ。ロ

A:広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択機修する。英語科目は必修単位を超えて機修する。上記に掲載した科目群を中心に機修計画を立てる。卒業要件をなるべく2年次で満たせるよう計画的に機修する(教養コ ア科目から4単位短线、言語スキル科目から2単位程度)。ロ 8・6:1年次の機修の上に積み上げる形で専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に機修計画を立てる。難易度や他科目との限連も重要なのでシラバスをよく確認すること(14単位程度)。ロ D:余裕があれば現遺体験から学びとるインターンシップやプロジェクト科目などの実践型学修に積極的に取り組む。海外ゼミナール(機修制限外)にも積極的に参加し、英語実践力を身に着けるとともに異文化体験から学び。ロ 春学期

学科目分野	I	A:基礎教育分野 B:メディア分野の基幹科目 基礎・教養科目系列] [専門系列1]						C:関連専門科目 〔専門系列2〕					D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕					
学年/学期	科目コード /ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	1		授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー			授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位		
初年次 秋学期	G-SEM101 L- G- L- G-	初年次演習 [言語スキル科目・英語] [教養コア科目] [書語スキル科目・その他外国語] [健康・スポーツ科学・実習]	_	M-IRE203 M-MED207	#N/A M-MED207	#N/A	国際関係学入門(必修)メディア産業論	2	M-ARS201	M-ARS201		Study-Abroad Workshop	2	C- G- G-OAR105 M-	[キャリア形成支援科目] [プロジェクト科目] 留字準備(ASP Pep) (履修制限外) [現場学習プログラム(履修制限外)]	1		
腰修単位の日安			12					4					2			2	20	40/124
	C-SEM101 G-INF101 L- G- L- G- G-/C-	初年次演習 大学生活デザイン演習 ICT基礎 (書語スキル料目・英語) (教養ユア科目) (意語スキル料日・大部分 (健康・スポーツ科学・実習) (その他) アの学修を中心に、①大子 (今国や地域の問題系を考え	20 学生と	こしての学修	スキル・基 学修をする。	壁的能力や問	競悪線修得などを目指す	. QÉ	律的で主体	的な学修態度	を高める。	③キャリアを目指す学び	の目標	G- G-OAR105	<ul> <li>【キャリア形成支援科目】</li> <li>【プロジェクト科目】</li> <li>留字準費(ASP Pop) (関修制限外)</li> <li>デブランを立てる。 ④グロ</li> </ul>	1 -/ \( \)	20	20/124
初年次の 学修の狙い	秋学期	ルな視点から国や地域の問題を考え、課題に取り組む学修をする。  A: 2年次以降の学修に備え基礎教育科目を選択履修する。教養コア科目については、なるべく2年次の欄に掲載されている科目群の中から選択して履修計画を立てる(TIUコア科目2単位、英語科目4単位、教養コア科目から4単位 寝鬼、その他外国語/健康スポーツ科学・実習/その他から2単位程度)。 口 B: 国際関係学入門は必修であり、2年次以降の専門学修の基礎となるので必ず履修すること。その他、上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。難易度や他科目との限連も重要なのでシラバスをよく確認すること(4単位 寝り。 口 (・ D: C分野の上記に掲載されている科目およびD分野キャリア形成支援科目のアカデミック・ライティング等、プロジェクト科目、キャリア形成支援などの実践型学修にも取り組む(4単位程度)。2年次でのASP参加希望者は 書学期または秋学期に留学準備(ASP Pep)(履修制限外)を必ず履修すること。 口																
	A:TIUコア科目(必修科目)、英語科目を優先して履修する。教養コア科目については、なるべく2年次の欄に掲載されている科目群の中から選択して履修計画を立てる(TIUコア科目6単位、英語科目4単位、教養コア科目が単位程度、その他外国語(健康、ホーツ科学・実容/その他から2単位程度)。ロ B・C: 専門科目は200番台のため加年次春学期にに撮修すささい。A、D分野の履修を確実に行い、秋学期に備えること。ロ D: 余裕があればプロジェクト科目、キャリア形成支援科目などの実践型学修に取り組む。2年次でのASP参加希望者は、春学期または秋学期に留学準備(ASP Pep)(履修制限外)を必ず履修すること。ロ											から8						

#### 国際メディア学科 コミュニケーション分野卒業必要単位履修モデル

			基礎教育分野			専門分野		
		TIUロア科目	教養コア科目 言語スキル科 目「英語」以外	言語スキル科 目「英語」	国際関係学入門(必修)	所属学科専門 分野200番台	所属学科専門 分野300・400 番台	その他
卒業必要維	位数	8	16	6	2	10	32	50
修得単位	数	8	16	6	2	10	32	54
4年次	秋							6
44%	春							2
3年次	秋						14	6
34%	春						18	2
2年次	秋							20
24次	春					2		18
初年次	秋	2	6	2	2	8		
初平次	春	6	10	4				